

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月23日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0174600205 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 幕別真幸協会 | | |
| 事業所名 | グループホーム くつろぎの家 | | |
| 所在地 | 帯広市西1条南2丁目4番地1 (電話) 0155-20-6767 | | |
| 評価機関名 | 有限会社 ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年6月22日 | 評価確定日 | 平成21年7月21日 |

【情報提供票より】 (21年6月6日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-----------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 12 年 1 月 24 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 8 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|---------------|------|
| 建物構造 | 木・鉄筋コンクリート 造り | |
| | 2階建ての | 1階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------|----------------|-------------|
| 家賃(平均月額) | 35,000円 | その他の経費(月額) | 管理費 15,000円 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| 1ヵ月 35,000円 | | | |

(4) 利用者の概要 (6月6日現在)

| | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| 利用者人数 | 8名 | 男性 0名 | 女性 8名 |
| 要介護1 | 2名 | 要介護2 | 3名 |
| 要介護3 | 2名 | 要介護4 | 1名 |
| 要介護5 | 0名 | 要支援2 | 0名 |
| 年齢 | 平均 89.2歳 | 最低 84歳 | 最高 97歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------------|
| 協力医療機関名 | さとう内科・循環器科クリニック・萩原医院 |
|---------|----------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、母体の特別養護老人ホームで介護経験を積んだ後に当ホームでの介護にあたっています。管理者は認知症の方に対する深い思いを持ちながら、職員と共に利用者一人ひとりの状態などについて共通理解を持ち、より良い介護方法について話し合いを重ね実践しています。毎日体操を行ったり、散歩や生活リハビリなどを行い重度化の予防に努めています。町内会、地域の方との関係も良好で、災害時にも連絡網で駆けつけていただけることになっています。市の協力もいただいて、利用者の作品展を開いたり幼児たちとの交流の機会を持つなどの活動も継続的に行われています。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年課題としてあげられた理念には、職員の話し合いで地域密着型としての視点も取り入れられています。同業者との交流を通じた向上については、他のホームに人事交流の申し入れを行っています。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の内容は職員全員が目を通し、確認しています。自己評価表及び外部評価の結果については、ホーム内の誰もが見られる場所に置き、運営推進会議でも報告をしています。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者・家族・町内会役員・地域包括支援センター職員・ホーム職員などが参加し、2ヵ月に一回行われています。事業報告・決算報告・自己評価及び外部評価の結果・地域交流・災害訓練・日常生活・感染症予防・事業計画などホーム側からの報告などの他、家族や地域の方々からの意見や提案をいただき、具体的な活動にも結びついています。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者の状態の変化などに応じて電話などで連絡を取ったり、家族の訪問時などに意見等をいただけるようにしています。運営推進会議には2名の家族に入ってもらっています。共用空間には外部の苦情相談窓口が掲示され、重要事項説明書には内外の苦情相談窓口の他、第三者委員も明記されています。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、日帰り温泉旅行・パークゴルフ・バス学習・懇親会などにも参加しています。懇親会の帰りにはホームでカラオケで交流をすることが恒例となっています。近隣の保育園の運動会や学習発表会に招かれたり、利用者の縫った雑巾を寄付したりしています。運営法人で行っている託児所の幼児がホームを訪れ、ふれあう機会も持っています。</p> |
| 重点項目④ | |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「私たちは一人ひとりに寄り添い、地域と共に安心して笑顔で暮らせる『家』にします」という理念を職員が話し合っ作りあげています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念はスタッフルームに掲示し、月一回の職員会議や毎日の申し送りの中で、理念の実践となるよう話し合いをしながら取り組んでいます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し、日帰り温泉旅行・パークゴルフ・親睦会・バス学習など行事には積極的に参加しています。近隣の保育園との交流なども行っています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価表の内容は職員も目を通していません。自己評価表、外部評価結果についてはホーム内の誰もがみられる場所に置き、運営推進会議でも報告しています。 | | |

帯広市 グループホーム くつろぎの家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヵ月に1回定期的に開催され、評価日現在で17回行われています。ホームからの報告や評価結果などの他、利用者や家族からの意見や地域の方々からの提案もいただいています。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の担当者とは必要に応じて連絡を取っている。様々な指導をいただくほか、利用者の作品展を行うための協力などもいただいています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月のお便りには行事などの写真を載せ、担当職員の手書きで利用者の様子を知らせています。心身の状態などによっては電話による報告も多く、金銭管理については3ヵ月に一回報告しています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の訪問時や電話など、意見を聞かせていただくようにしています。運営推進会議には2名の家族が参加され、意見をいただいています。内外の苦情相談窓口は掲示され、重要事項説明書にも明記されています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員は、同法人経営の特別養護老人ホームで数年の介護経験を積んでから、当ホームでの介護にあたっています。異動は最小限に留め、異動する職員がいる場合には、新しく赴任する職員に早い時期に来てもらい慣れるための期間を持つようにしています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 十勝介護福祉士会の研修には毎月職員が参加できるようにしています。また、その他の研修も職員に案内し参加を奨励しています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修会参加時等に他ホームの職員との交流をしています。また今後、他グループホームとの人事交流が行えるよう要請しています。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 家庭訪問をし、利用前の生活ができる限り継続できるよう、縫い物など習慣的にされてきたものの道具や普段使い慣れているものを持ってきていただけるようお願いをしたり、生活習慣を継続できるようにして馴染めるよう工夫しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理・縫い物・接客の仕方など、得意なことを教えていただいたり、職員が困ったことを話して相談にのっていただいたり、昔の話を聞かせていただくなど、人生の先輩として学んだり活動を共にし、支え合える関係を築いています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 「故郷訪問」として、昔、買物に行っていたお店に行くなど、住んでいた場所の近くを訪れたり、以前楽しんでいたパークゴルフに行ったりもしています。普段と違う様子にも家族と相談をしながら、利用者本位に対応しています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | センター方式を活用し、詳細なアセスメントを行っています。担当者が介護計画の原案をたて、介護支援専門員が利用者と家族に希望を聞いて、話し合い、そして計画を立て、職員会議で意見を聞いて最終的に介護計画を作成しています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 毎月スタッフ会議で一人ひとりの心身の状況などについて話し合い、介護計画の変更が必要と判断された場合には、期間の終了以前に現状に合わせた計画を作成しています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 「故郷訪問」として、以前住んでいた家の周りなどを訪れる支援をしたり、入院により退居した利用者のお見舞いに行き、家族のサポートをしながら、終末まで関わりを持つことなども行ったことがあります。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者一人ひとりがそれぞれのかかりつけ医にかかっています。一週間に一回、看護師が健康チェックに訪れているほか、毎朝時間を決めて母体施設の看護師に心身の状況を報告し、相談にもものっていただいています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 身体状況の悪化などが予想される場合には、家族と話し合いながら、方針を共有できるようにしています。必要な場合には、家族に加えて医療関係者とも話し合いを緊密に行いながら対応しています。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 新入職員などには運営法人で言葉かけや対応、情報の取り扱いに関する研修を行っています。プライバシーポリシーについては掲示し、徹底できるようにしています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 天気が良ければ散歩や買物に出かけたり、その日にやりたいこと、やりたくないことなどを確かめながら、過ごせるようにしています。 | | |

帯広市 グループホーム くつろぎの家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者には、ベテラン主婦が沢山いるので、できることを一緒に行いながら教えていただいています。食事も楽しく一緒に摂り、行事の時にはビールなども用意され楽しまれています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴日は決まってはいるが、状況などに応じて週3回程度入浴できるようにしています。入浴時は一対一で話ができる大切な時間ととらえ、希望を聞きながら楽しめるようにしています。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 掃除、洗濯物干し、たたみ、縫い物、書道、カラオケ、プランターで野菜や花を育てることや散歩など、できる限り役割や楽しみが持てるよう支援しています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気が良ければ毎日のように散歩に出かけています。希望に応じて買物に行ったり、花時計・桜・紅葉などを見にドライブに出かけたり、運営法人の施設に訪問するなど、戸外に出る機会を設けています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 夜間以外には鍵はかけていません。見守りし、出かけた利用には一緒について歩くようにしています。 | | |

帯広市 グループホーム くつろぎの家

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回避難訓練を行っています。夜間想定訓練も行っており、地域の代表者の方々が連絡網に入っただいております。今年は炊き出しなども行われる地区の防災訓練に参加することになっています。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 摂食表などがあり一日を通じた大まかな量を把握しています。献立は管理栄養士によってたてられカロリー、栄養バランスともに配慮されています。好みにも配慮し変更もできるようになっています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が自ら書く内容も決めて書いた書道の作品や行事の写真、季節の飾り、観葉植物などが置かれています。利用者がゆったりと座れるソファや食卓など、思い思いに過ごせる空間となっています。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時から家族の協力をいただいて、家庭にいた時と大きく変わることはないよう、椅子・テーブル・時計・のれんなど、利用者の部屋にあった使い慣れたものを持っていただき、居心地良く過ごせるよう工夫しています。 | | |

※ は、重点項目。